

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和元年 5 月 31 日

議席番号 20 番

東村山市議会議長あて

質問者 石橋 光明

記

1. 学校通学路の防犯カメラ設置について

<刑法犯認知件数>

- ① 「平成 30 年警察白書」で公表されている刑法犯認知件数で、平成 14 年以前と以後の件数の推移は。
- ② ①と同意に東村山市内の推移は。
- ③ 警察は上記の件数が推移している状況の背景をどう分析しているか。

<市民意識調査>

- ① 平成 23 年度から実施している「市民意識調査」。その中の「主な取組みに対する今後の重要度」の設問に対し、「たいへん重要」と答えた比率が最も高いのは何の取り組みか。

<学校通学路の防犯カメラ設置>

- ① 東京都は今年度新たな設置補助制度を予算化した。その内容を伺う。
- ② ①には中学校通学路も含まれるか。
- ③ 小学校通学路には昨年度までの 3 ヶ年で各校 3 台の防犯カメラが設置されたが、各学校や P T A などからは、そもそもそれ以上の設置要望はなかったか。
- ④ 新たな都の補助制度を活用し、補正予算を組んででも通学路に防犯カメラの増設（小学校）、及び新設（中学校）を進めるべきである。見解を伺う。

2. タクシーを活用した移動支援について

- ① コミュニティーバス以外の交通手段の導入を考えた場合、既存のコミュニティーバスとの役割分担を整理する必要がある。導入する手法にもよるが、どう整理することが適切と考えるか。

- ② 交通空白・不便地域を解消することは重要と考える。一方、今後進展する高齢化に伴い、高齢者等の足の確保、移動支援は更に重要性を増すと考えられる。高齢者は交通空白・不便地域だけに住まれている訳ではない。よって、新たな移動手段を構築していく際、「交通空白・不便地域を解消するため」という考え方は「福祉」の観点からすると限界があるのではないかと思う。見解を伺う。
- ③ 奈良県田原本町では「タワラモトンタクシー」という名称で、昨年度から初乗り運賃補助で移動支援を実施している。以下の内容は今後の議論の参考にしていただくために簡単に紹介する。(以下、田原本町HPより引用)

〔助成内容〕

町内指定事業者のタクシーで、町内での利用又は出発・到着のどちらかが町内となる便の初乗り料金分（小型 660 円、中型 680 円）を補助

〔補助対象者及び利用券発行枚数〕（一年度あたり）

- ◇70 歳以上の人 24 枚 ◇身体障害者手帳 1 級又は 2 級を有する人 12 枚
- ◇療育手帳 A1 又は A2 を有する人 12 枚
- ◇自主的な移動が困難であることを証する書面を有する人 12 枚
- ◇出産予定があり母子手帳の交付を受けた人 24 枚 ◇就学前の児童 24 枚

〔利用券を使えるタクシー事業者〕

4 社

〔利用可能日時〕

月曜日～土曜日の午前 8 時～午後 6 時

〔利用方法〕

- ① 通常タクシーと同様に配車・乗車（タワラモトンタクシー利用券を使いますと伝える）
- ② 料金支払時、利用登録証と利用券（切り離さない）を乗務員に提示
- ③ 利用券 1 枚を乗務員が切り離し、残りの利用券と利用登録証を受け取る
- ④ タクシー運賃から基本料金を差し引いた金額を乗務員に支払う

このような移動手段・移動支援もある。当市のこの事業への評価、感想をお持ちか。また調査研究する事例の一つにさせていただきたいが如何か。

3. 今後の駅前駐輪場について

- ① 現在、今後の市内駅前駐輪場のあり方についてサウンディング型市場調査を実施されているが、調査内容・期間、調査結果の検証、素案、議会提案等といった一連の行程を伺う。
- ② 検討場所の一つに久米川駅南口第一駐輪場がある。駐輪場の存続等も含めた、いわゆる公民連携で施設整備等の検討を開始するのか。